

# 江南区自治協議会通信

ホームページ：<http://www.city.niigata.lg.jp/konan/torikumi/kyougikai/index.html>

編集・発行：江南区自治協議会  
(事務局 新潟市江南区役所地域課)  
〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5  
電話：025-383-1000(代表)  
FAX：025-381-7090

江南区自治協議会は、区民の皆さんと行政との協働による分権型のまちづくりを進めるため平成19年4月に設置され、区民の皆さんの声を行政に反映させるため、これまで、地域課題の解決に向けた議論を重ね、区政全般にわたり、意見を述べてきました。

平成23年4月から第3期目がスタートし、2年間にわたり、会議を重ねてきましたが、あらためて区自治協議会の役割や組織について紹介するとともに、江南区自治協議会提案事業の取り組みなどについて報告します。

## 区自治協議会とは？(組織と役割)

### ◆区自治協議会の役割

区自治協議会は、区の特色を活かした魅力あるまちづくりを進めるため、地方自治法に基づいて設置された市の附属機関で、大きく分けて2つの役割があります。

1つ目は、市民と行政との「協働の要」としての役割です。区民に身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行います。

2つ目は、審議機関としての役割です。総合計画等の計画や公共施設の設置、廃止などに関して、市長やその他の市の機関から諮問されたものについて意見を述べるほか、区自治協議会自ら必要と認めるものについて、審議し、意見を述べることができます。

### ◆区自治協議会の組織

現在、区自治協議会は、各地区のコミュニティ協議会からの推薦委員11名、商工会議所、農協等の公共的団体などからの推薦委員12名、学識経験者4名、公募委員3名の合計30名の委員で構成されており、任期は2年です。今年4月には改選を迎え、第4期目の委員が新たに選任されます。



### ◆区自治協議会の会議

区自治協議会の会議は、毎月1回区役所の会議室などで開催しています。なお、会議は公開で行われ、傍聴が可能です。また、ホームページへの掲載などを通じて、会議の内容や資料をご覧ください。



## ～ 一体感の醸成と将来への夢 ～

江南区自治協議会長 右近 次男



昨年10月、江南区に待望の文化会館がオープンしました。連日のように、幼児、小中学生をはじめ高齢者に至るまで多くの人々が訪れ、思い思いの文化活動や、華やかで和やかな交流活動を通して、区民としての一体感が確かに醸成されていると感じ、とても喜ばしいことと思いました。

さて、江南区自治協議会では、昨年からの住民自治の立場で、区自治協議会提案事業として、3つのプロジェクトチームを立ち上げ、地域課題の解明とその対応に努めてきました。これらの諸活動では、子ども達と一緒に取り組む機会が多々ありましたが、子ども達は、実によく話し、よく動き、考えてくれる非常に頼もしい後継者達であるとあらためて感じました。江南区の課題と将来像を明らかにし、夢をもって「区づくり」に努める人材として今後に期待したいと思います。

最後に区自治協議会の具体的な活動を通して、大人も子どもも一体感・連帯感を強めるとともに将来に夢を描けるよい機会となるよう、今後とも区民の皆さんのご支援とご協力をお願いします。

## 区自治協議会の取り組み 「江南区自治協議会提案事業」

### ■区自治協議会提案事業とは？

超高齢社会を迎え、複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会自らが企画提案し、主体的に取り組むを進めていこうというものです。

江南区自治協議会では、昨年度、ワーキンググループを設置し、地域の課題などから話し合い、事業についての検討を行いました。

検討の結果、今年度からの取り組みについて、「**未来につながる元気の芽を育てる**」、「**区内各地区をつなぐ仕掛け・仕組みをつくる**」、「**区内の一体感を創出する**」をテーマに地域の現状や将来像などを子どもと一緒に学び、考える場を設け、取り組むことで、次世代の担い手育成や、区づくりへの気運を高めるため、3つの事業に取り組むこととしたものです。

### ■3つの事業とは？

1つ目が「市民活動見本市プロジェクト」、2つ目が「子ども会議プロジェクト」、3つ目が「命を守るまちあるきプロジェクト」です。

これまで、区自治協議会委員は、3つのプロジェクトに分かれ、それぞれの詳細な検討や運営に直接関わってきましたが、その取り組みを紹介します。

⇒裏面へ

### 江南区自治協議会提案事業のコンセプト

事業の根本目的(事業理念)

地区単位で未来につながる元気の芽を育てたい

区内各地区をつなぐ仕掛け・仕組みをつくる

区内の一体感を創出する

地域の人が安心・安全に暮らし続ける環境をつくりたい

これらの状況を実現するためには…

- ・まずは区の現状を知ること、他地区を知り合うことが必要
- ・子どもを巻き込み一緒になって取り組むことで、次世代の担い手育成や、区づくりへの気運を高めることが必要

まず取り組むべきこと…

地域の現状・将来像(夢)を、大人と子どもが一緒になって、学び・考える場を設ける

事業①  
市民活動見本市  
プロジェクト

事業②  
子ども会議  
プロジェクト

事業③  
命を守るまちあるき  
プロジェクト

## ◆市民活動見本市プロジェクト

このプロジェクトでは、「地域の声を吸い上げ・届ける」ことを目標に、各地域の市民活動を紹介することで、対外的に広く周知するだけでなく、他地域の活動について知り、自分たちの地域の活動に還元できるものを目指すという取り組みです。

まずは、目的を形にできる具体的な方法を検討し、今年度は、コミュニティ協議会単位で、市民活動を紹介するパネルやリーフレットを作成し、作成したパネルをイベントや人の集まる場所に掲出することから始めました。

作成したパネルやリーフレットは平成24年10月28日(日)に開催された江南区“旬果旬菜”いきいきフェスタで公開したのをはじめとし、多くの人が集まる場所に掲示しました。今後も様々なところでこのパネルなどを活用していきたいと考えています。

### プロジェクト委員

岩瀬耕一・豊岡克・小林勲・福間博子・五十嵐ノブ子・木島正昭・中野日出雄・宮澤信榮

### プロジェクトを振り返って

事業の検討当初、市民活動とはいえその活動範囲が広く、何を基準に

を絞るかに苦慮しました。幸い区内各地には地域の特性を活かした伝統行事や新しい活動が沢山あり、今回はその中から「イベント」「まちづくり」「福祉」を中心に是非地域外の皆さんに知って頂きたい行事等をピックアップしてみました。自分が住む地域以外のことはなかなか知る機会も少ないと思われます。今回の事業で作成したパネルやリーフレットを是非ご覧頂き江南区内の行事に積極的に参加し、新しい体験を試みて頂きたいと思えます。

また、今後においては「地域の声を吸い上げ・届ける」を更に研究し、誰もが解り易く楽しく参加できる市民活動をご紹介したいと考えています。(小林勲)



## ◆子ども会議プロジェクト

このプロジェクトは、子ども達が区内の現状や課題、地域の取り組みなどについて大人と一緒に考える機会を持つことで、自分達の地域に関心を持ってもらい、また、子どもの視点からの意見を江南区のまちづくりに取り入れようという取り組みです。



今年度は亀田小学校の4～6年生から募集した38人が参加し、区自治協議会委員と一緒に8グループに分かれ、「亀田のこんなところが好き・こうなってほしい」をテーマに話し合いました。

### プロジェクト委員

湯田昭子・本間一人・山倉茂美・右近次男・佐藤ユリ子・市川京子・堀昌子・佐藤吉昭・荻荘誠

### プロジェクトを振り返って

子ども会議当日は、運営スタッフに協力をいただきながら子ども達とブ

プロジェクト委員とが一緒に「亀田の好きなところ・自慢したいところ」と「まちなかで気になるところ」を出しながら、それを基に「どうしてだろう」「どんなところが」と広げながら「こんな亀田にしたいな!」をまとめ上げました。商店街を明るく、祭りの伝統を引き継ぐ、思いやりのあるきれいな街、人との関わりを大切に



するなど子ども達は実に積極的に意見を出し、活発に話し合い、自分達の住むまちについてあらためて考え、関心を持ってくれたものと思っています。参加した私達も子ども達と一緒に楽しく話すことができ、大人の私達の知らなかった亀田のことをたくさん教えてもらうこととなりました。子ども達から受け取った意見を私達はどんな形で返すことができるのか、どうまちづくりに活かせるのか、一つでも多く形にできるようプロジェクトでも検討をしていきたいと思えます。

(山倉茂美)

## ◆命を守るまちあるきプロジェクト

このプロジェクトは、「安心・安全」をテーマに実際に地域の標高を調べることを通して、改めて、地域の地勢や成り立ち、歴史などを知り、地域の安全性(特に水害)への関心を高めるため、子どもをはじめ、地域のみなさんと一緒に取組もうというものです。

平成24年8月9日に実施した、亀田西小学校区を皮切りに、曾野木小学校、大淵小学校、丸山小学校、早通小学校などでもこのまちあるきプロジェクトを実施しましたが、その結果を地域のみなさんにより知ってもらうため、測量体験を実施した場所には順次、青色の標高板を設置しています。

### プロジェクト委員

平井隆・目黒勝・大竹真理子・八幡昭雄・基村益子・本間弘・石井久以知・横木英夫・高橋善輝・田中久一・細川傳一郎・遠藤典男・三原光雄

### プロジェクトを振り返って

今回、小学校の高学年児童を対象に地域のことをもっと知ってもらおうということで、測量体験や亀田郷の歴史をコミュニティ協議会、建設業協会、土地改良区、そして地域の自治会の皆さんなど多くの皆さんのご協力をいただき、区自治協議会として実施することができました。

平成23年には非常に大きな災害が続き、自然災害の脅威に対する関心

も非常に高まっています。参加した子ども達も皆真剣に測量体験などに取り組み、あらためて地域のことを学び、知る機会となったことと思います。

近頃、就学児童のいない家庭では学校行事等への関心が薄いなど小学校と地域との間に距離を感じることもありましたが、今回のプロジェクトでは、学校と地域、関係団体等の連携強化と学校への関心を深める有意義な機会となったものと思えます。引き続きこの取り組みへのご理解とご協力をお願いします。

(目黒勝)

